



# 川と人 Vol.39



忠別川・旭川市民サイクリングにおいて 2014.8.31 忠別川東神楽橋上流左岸 撮影：写真工房えふ、半澤伸夫氏

## CONTENTS

- ご挨拶.....02  
(一財)石狩川振興財団 理事長 森田 康志
- インタビュー.....03  
北の中心から次代を見る  
旭川市長 西川 将人氏
- 特集.....06  
道都・札幌に良好な水環境を  
茨戸川清流ルネッサンスIIの取り組み
- 石狩川の歴史.....12  
日本最大級・石狩炭田の昨日そして明日

- 流域の現在.....15  
・比布町 世界へ故郷発信中！  
・歌志内市 メイド・イン・うたしない
- 河川トピックス .....17  
・千歳川遊水地群の舞鶴遊水地が完成  
・豊平峡ダムでワイン熟成の実験を開始  
・北彩都あさひかわが都市景観大賞受賞！  
・網走川大曲堰が土木学会北海道支部技術賞を受賞
- 石狩川振興財団の活動報告.....20  
・流域環境保全活動  
・河川教育活動  
・NPO・市民団体への支援・助成  
・河川事業に関する情報交換と川からのまちづくり  
平成26年度市町村河川情報委員 情報交換会議  
・石狩川流域圏会議

## ご挨拶



一般財団法人 石狩川振興財団理事長

森田 康志

石狩川振興財団は、平成4年5月に公益法人として設立され、平成23年8月に一般財団法人に移行しました。設立以来24年目を迎えますが、この間一貫して、石狩川流域の市町村やNPO等との連携を保ちながら、川への理解を深める活動や、川を軸とした流域振興を進める活動を行ってきました。

近年、東日本大震災をはじめとする大規模災害や、気候温暖化によると考えられる極端な異常気象による災害が、全国で発生しています。北海道でも、平成26年9月11日に、石狩、空知、胆振地方に、北海道で初めてとなる「大雨特別警報(土砂災害、浸水害)」が発表され、石狩、胆振地方では、1時間降水量、3時間降水量、24時間降水量等の観測史上1位を更新する記録的な大雨となりました。

一方で、災害に対処する地域に目を向けると、水防団員等の減少や高齢化の進行で、地域の防災体制は弱体化しており、これを受けて、水防協力団体の指定対象が法人にも拡大される等の水防法の改正が行われました。また、河川法も改正され、河川管理等に協力するNPO等を河川協力団体として指定し、これらの団体と連携して、河川の維持管理、情報収集、知識の普及啓発等の充実を図ろうとしています。このように、防災や河川管理において、行政と様々な団体、住民との連携の重要性が、また、行政においても、国の各機関、各地方自治体との連携の重要性が、ますます高まっています。

こうした中で、安全で潤いのある、また元気な地域を実現するためには、当財団がこれまで培ってきた各市町村やNPO、市民団体及び河川管理者とのコミュニケーションネットワークを、これまで以上に活用することが有用であると考えています。平成27年度において、当財団は、石狩川流域の全46市町村長により構成される石狩川流域圏会議の活動を側面から支援し、流域市町村の活性化を目指します。また、NPO等と連携して行う活動の中では、砂川遊水地等において、小中学生といった次代を担う世代を対象とする河川環境や水防災に関する学習活動に、引き続き力を入れていきます。

コミュニケーションネットワークを活かし、石狩川振興財団は、川づくり、まちづくり、人づくりという3つの「つくり」を、これからも進めていきますので、ご指導、ご支援をお願いいたします。

Interview

# 北の中心から 次代を見る

インタビュー

石狩川流域圏会議議長  
旭川市長

## 西川 将人氏

平成23年に発足した石狩川流域圏会議。石狩川流域全46市町村の首長が構成する会議の議長である西川旭川市長に、旭川市のまちづくり、石狩川流域圏会議の取り組みについて、お話を伺いました。



旭川市長  
西川 将人氏

### Profile

1968年11月7日生。旭川市出身。日本航空パイロットとしてのキャリアを経て、故郷旭川市に戻って政治の道を志し、2006年旭川市長選に出馬し初当選。スキーにヨット、レスリングほかスポーツマンとしても知られる。



聞き手 森田 康志  
一般財団法人 石狩川振興財団理事長

## 市民の誇り北彩都あさひかわ

森田理事長（以下理事長）：旭川駅から北彩都あさひかわの忠別川沿いを歩いてみました。川に面したこれほど大きな駅は日本にないし、世界に誇れるものではないかと思えます。16年を要した北彩都あさひかわが完成した今、どのような感想をお持ちですか。

## Interview

**西川市長（以下市長）**：北彩都あさひかわの計画は平成2年に開始していますから、四半世紀にわたる、総事業費1千億円以上の大事業です。この間、お力添えをいただいた皆様には大変感謝しています。おかげさまで、北彩都あさひかわは、今年の都市景観大賞を受賞することができました（19ページ河川トピックスを参照）。北彩都あさひかわを、全国そして海外へ発信しながら、民間投資も呼び込み、北・北海道のCenter of Centerとして認知してもらい、市民の誇りとなる魅力的な空間にしていきます。



大池が通水レグラウンドオープンした北彩都ガーデン

## 北のグルメが集結 食べマルシェ

**理事長**：旭川には全国的にも知名度が高い旭山動物園がありますが、観光も含め広域で取り組むことが大事だと思います。そういう意味で、「北の恵み 食べマルシェ」は素晴らしい取り組みです。

**市長**：今年は9月19日から23日まで開催予定です。去年は天候に恵まれ、3日間で100万人以上の来場がありました。食べマルシェは、平成22年、旭川市開村120年記念事業として始めましたが、好評を受け毎年開催しています。「北・北海道の基幹産業である農業と、関連した食品産業が元気なことが、地域活性化につながる」という思いを込めて立ち上げ、今や北海道を代表する秋の食のイベントに定着したと思います。出店者の売上増も重要で、ここから販路を拡大したお店もあるなど、経済的にも大きな役割を担っています。道内ですと、北は稚内市から南は富良野市、西は留萌市から東は紋別市の約300店が出店します。北・北海道一円のまちが平和通買物公園など旭川市の中心部に集結してアピールし合うことは、北・北海道の拠点都市の機能活用という大きな意味を持ちます。

**理事長**：食べマルシェの一番良いところは、旭川市が北・北海道全体のリーダーシップをとる意志表示をしたことだと思います。



## Interview

## 将来を見据えた空港の機能強化

**理事長：**今、市長が最も力を入れていることは何ですか。

**市長：**観光の分野ですと、国や北海道は、インバウンド（訪日外国人旅行者）増加を強力に推進し、旭川市もプロモーション活動を行い成果は上っています。旭川空港の国際線乗降客数は平成26年度約16万人、旭川市内の外国人宿泊数は平成26年度86,000泊で、いずれも過去最高となり、平成32年の東京オリンピック後もインバウンドは増えると考え、旭川空港の機能強化に取り組みます。道内拠点空港が受け入れ態勢を整えると、旭川空港イン女満別空港アウトのオホーツク観光ルート、旭川空港イン帯広空港アウトの北海道ガーデン街道ルートといった、連携した集客が期待できます。6月末から旭川空港ターミナルビル社長に就任しましたので、迅速に体制を整え、合わせて「空の駅」構想を進めます。東神楽町とも連携し、北・北海道のさまざまな物産が集まる旭川空港を、道の駅のように、乗降客以外の人がたくさん来てくれる魅力ある空間にしていきます。

## 石狩川流域圏のリーダーに

**理事長：**市長は、滝川市、恵庭市に続いて、今年度から石狩川流域圏会議の議長になりました。2年間ですが、石狩川流域市町村を引っばっていくことになります。

**市長：**7月に行われた豪雨災害対策職員研修は、「とても参考になった」と聞いていますし、「川のまち・あさひかわ」としても重要な取り組みです。また、流域圏会議の取り組みとして、石狩川上流地域のサイクリングマップをつくり、全流域が結ばれるように進めたいと思います。最近、台湾を中心に、旭川空港到着後、自転車で美瑛・富良野へ行く観光客が急増しており、層雲峡まで楽しんでもらうため、情報を広く提供します。また、流域圏会議では、今年から、相互防災支援体制の構築に取り組みます。一部の自治体の間では既に災害時の応援協定を結んでいます。石狩川流域圏として、上流・中流・下流の広域にわたって助け合える体制をつくりたいと思います。

**理事長：**財団としては、少しでも石狩川流域圏会議のお役に立ちたいと考えております。本日はお忙しいところ、ありがとうございました。



川のまちの象徴 旭橋 平成25年7月 写真：旭川市都市計画課



道都・札幌に良好な水環境を

# 茨戸川清流ルネッサンスⅡ

の取り組み

茨戸川と札幌北部地区の水環境を改善する取り組みを、  
国・道・市、地域住民が連携して進めている。

その取り組みの中で、国(北海道開発局)が実施していた  
事業が平成26年度に完了した。

札幌において良好な水環境を創造する事業は、  
住環境の向上と地域住民の憩いの場の  
創出を目指している。



茨戸川全景



創成川公園 H27



伏籠川百年橋下流 H27 導水状況



茨戸川

中島公園 H19 通水式

## 茨戸川清流ルネッサンスⅡとは

国土交通省では、水環境の悪化が著しい河川・都市下水路・湖沼・ダム貯水池等の水質改善を図るため、水環境改善に積極的に取り組んでいる地元市町村と河川管理者、下水道管理者などが一体となって策定する「第二期水環境改善緊急行動計画（清流ルネッサンスⅡ）」に基づき、水環境改善の取り組みを推進している。

石狩川の旧川である茨戸川は、平成13年に対象河川に選定され（全国では34箇所）、茨戸川の水質改善及び札幌北部地区河川の流量確保を図るため、各関係機関や流域住民等で構成された「茨戸川清流ルネッサンスⅡ地域協議会」を設置。平成15年3月に同協議会が策定した「茨戸川及び札幌北部地区河川水環境改善緊急行動計画書」に基づき、参加者の役割分担により水環境の改善に取り組んでいる。

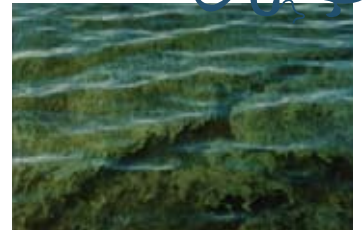
# 茨戸川と北部地区河川が抱えていた問題

特  
集

## 石狩川の旧川である茨戸川と水質問題

茨戸川は、石狩川のショートカット事業（生振捷水路）により、昭和8年に石狩川本川から切り離された、延長約20km、平均幅200mの石狩川の旧川で、札幌市街地を流れる多くの中小河川が流入しており、ボートや釣りに利用されるなど、地域住民の憩いの場となっているほか、全域が漁業利用され、その水は周辺地域の農業用水として利用されている。

しかし、茨戸川には、札幌市の発展とともに市街地の下水処理水が流入し、昭和48年8月にはアオコ（富栄養化による藻類の異常繁殖）の大量発生が確認された。水



茨戸川のアオコ発生状況 昭和50年

の交換の少ない旧川という環境もあって、下水処理水の影響をより強く受け、藻類が死滅してカビ臭が発生、また、水中の溶存酸素を奪うため魚類の斃死などが生じた。



茨戸川での浚渫作業状況

茨戸川でのアオコの大量発生を受け、国・北海道・札幌市・石狩市は連絡協議会を設置し、緊急的な対策や水質改善に向けた調査研究を進めることとなり、浄化対策の一環として、国による底泥浚渫が、昭和53年から平成11年にかけて行われた。茨戸川、創成川、伏籠川の3川が合流する地点を中心に、浚渫延長約10km、浚渫土量約164万m<sup>3</sup>に及ぶもので、水質は改善方向に向かったものの、依然としてアオコが発生し、環境基準を達成できない状況だった。

## 湧き水が涸れた札幌北部地区河川の問題

かつて札幌扇状地の扇端より先（現在のJR札幌駅より北側）は、ムム（アイヌ語で湧泉の意）から湧き出る豊富な水により、湿地帯であった。しかし市街化が進み、雨水の地下浸透の減少や地下水利用量の増加等により、湧き水はほぼ涸れた。このため、湧き水を水源としていた札幌北部地区の伏籠川などの河川は、平常時の流量が減少し、水質悪化が進んだ。



丘珠5号川の状況 河川水が停滞している 平成20年頃



昭和49年7月4日の北海道新聞記事 記事：北海道新聞社 10870

# 茨戸川清流ルネッサンスⅡの取り組み


 特集


空から見た茨戸川

## 茨戸川清流ルネッサンスⅡ

茨戸川のそれまでの水質浄化対策を受け、平成13年度、清流ルネッサンスⅡの計画対象河川に茨戸川および札幌北部地区河川が選定され、「茨戸川清流ルネッサンスⅡ地域協議会」が設立された。学識経験者、NPO、地域住民、河川管理者、下水道管理者などにより構成された地域協議会では、さまざまな視点から議論が行われ、水環境改善のための緊急行動計画書が平成15年3月に策定された。なお、地域協議会は、平成14年3月から平成26年11月まで20回開催された。

### 行動計画のポイント

#### ○連携した取り組み

茨戸川清流ルネッサンスⅡは、河川管理者、下水道管理者、NPO・地域住民が共通の目標を目指して連携して取り組むものである。

#### ○茨戸川 計画目標値は3mg/l以下（環境基準B類型）

茨戸川の現在の水環境特性（生物、親水、景観）や水利用特性（内水面漁業、農業、レジャーボート、釣り、自然観察、環境学習）を考慮し、BOD3mg/l（75%値）を水質の目標値とする。これにより、生物の生息環境の向上、積極的な親水利用、美しい水面景観の保全を図ることができる水環境を創造する。

#### ○札幌北部地区河川 せせらぎ回復

せせらぎの回復により、豊かで清らかな水辺環境の創出等、水環境の改善を目標とする。

### 茨戸川清流ルネッサンスⅡ

河川事業 茨戸川へ浄化用水の導水

下水道事業 下水道の普及、高度処理、汚泥処理の集中化

流域対策 清掃、植樹等地域の取り組み

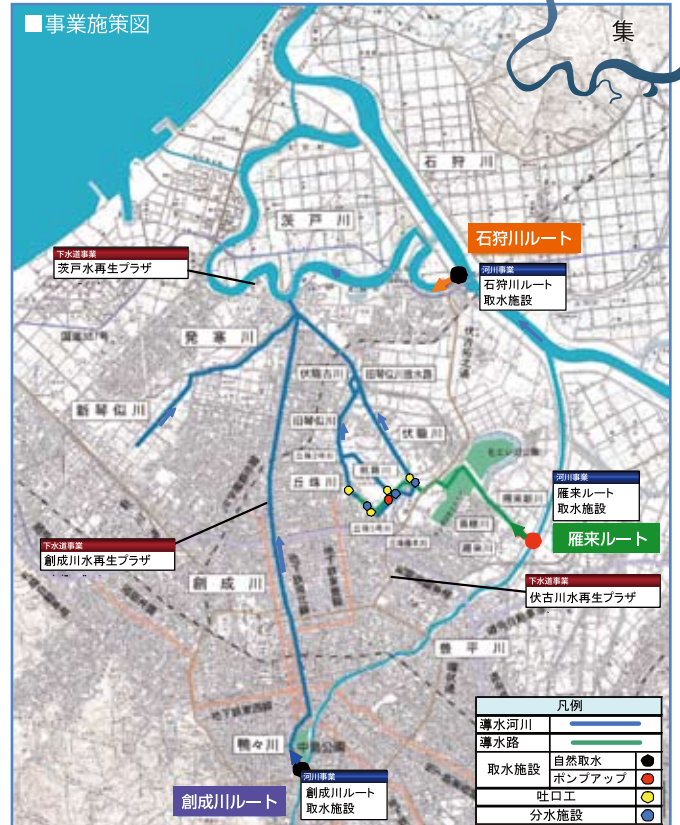


# 河川事業

## 茨戸川と北部地区河川へ3つのルートから導水

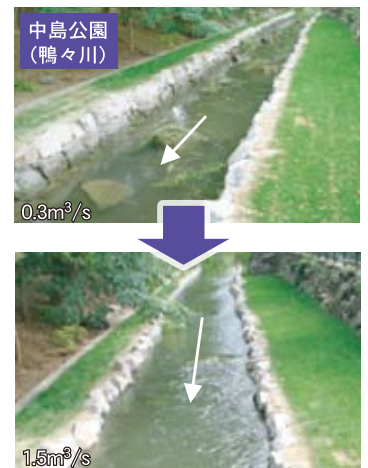
茨戸川および札幌北部地区河川の水環境目標を達成するために、創成川ルート・雁来ルート・石狩川ルートからの導水が計画された。これにより、札幌北部地区河川の流量が回復し、茨戸川では滞留時間が短縮されて植物プランクトンの増殖を抑えることが可能となる。

改善対策	ルート (導水期間)	概要	計画導水量	通水
浄化用水 (維持用水) の導水	創成川ルート (5月～11月)	・豊平川の水量に応じて鴨々川へ自然流下 (中島公園内の親水区間に配慮した2層構造)	1.5m <sup>3</sup> /s (自然取水)	H19.8
	石狩川ルート (6月～11月)	・石狩川の水位が茨戸川より高い時に、水位差によって茨戸川へ自然流下	1.0m <sup>3</sup> /s (自然取水)	H22.8
	雁来ルート (5月～10月)	・豊平川からポンプ取水 ・導水管を経由して、札幌北部地区を流れる丘珠川、航路川へ分配 ・伏籠川などを流下して茨戸川へ導水	1.0m <sup>3</sup> /s (ポンプ取水)	H26.11



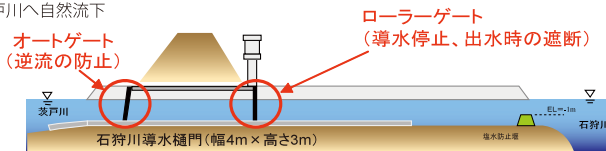
### 創成川ルート

- 豊平川の水量に応じて鴨々川へ自然流下
- 中島公園内の親水区間に配慮した2層構造
- H19.8 通水



### 石狩川ルート

- 石狩川の水位が茨戸川より高い時に、水位差によって茨戸川へ自然流下
- 導水停止条件 塩分濃度、出水時
- H22.8 通水



### 雁来ルート

- 豊平川からポンプ取水
- 導水管を経由して、札幌北部地区を流れる丘珠川、航路川へ分配
- 伏籠川などを流下して茨戸川へ導水
- H26.11 通水



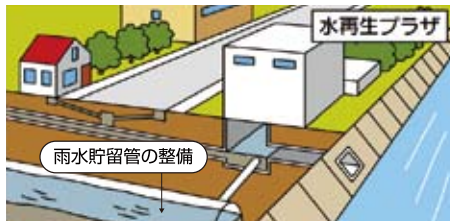
## 下水道事業

### 合流式下水道の改善と高度処理

合流式下水道の改善や高度処理への取り組みを実施し、流域汚濁負荷の削減を目指す。



西部スラッジセンター下水汚泥の高度処理施設



#### 合流式下水道の改善

##### 合流式下水道の改善

雨水貯留管等を整備し、雨天時の未処理水の放流を半減

## 流域対策

茨戸川河畔では、民間団体、札幌市、石狩市等による植樹活動が行われ、創成川や丘珠川等でも民間が主体となつて清掃活動がほぼ定期的に行われているほか、シンポジウムの開催、学習のための教材が配布されている。

蘇りつつある豊かな水辺を体感することで、この環境を守る意識を育てている。



川の清掃活動



クリーンアップ茨戸川



植樹の様子

### 流域対策の実績

活動内容	主な活動主体	活動詳細(代表事例等)
河川環境の維持	漁協、NPO 等	河川美化活動
	市民、民間会社等	河川清掃
	NPO、民間会社、札幌市、石狩市等	植樹活動
	札幌市	河川環境モニター報告
啓発活動の実施	河川管理者、NPO 等	環境学習
	河川管理者	情報発信
	河川管理者、NPO、漁協、大学等	連携促進、啓発活動の喚起のためのシンポジウムの開催
	札幌市	環境教育のための教材配布
	石狩市	自然観察会
	河川管理者	情報発信
排水対策	ボート協会、漁協等	水面利用
	北海道	条例による工場・事業所の排水規制
	札幌市、石狩市	合併浄化槽設置費の補助

### 活用状況



リバーセイリング(茨戸川)



創成川ルート 中島公園内



プレジャーボート観光(茨戸川)



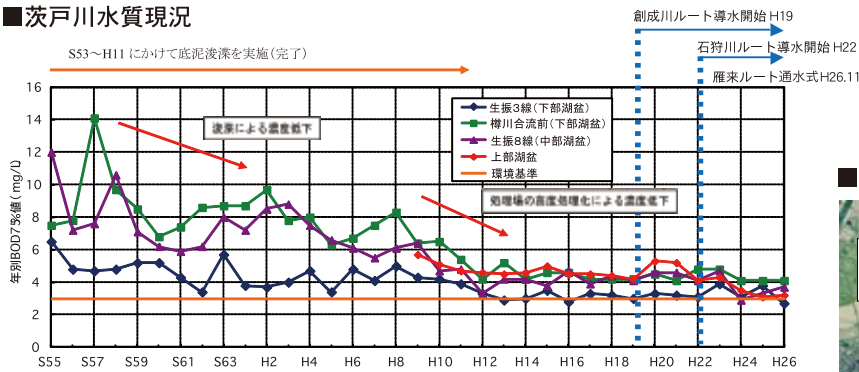
茨戸川の眺め

## せせらぎが蘇った水辺へ集う

### 茨戸川清流ルネッサンスⅡの効果

現在、茨戸川と札幌北部地区河川は、底泥浚渫、下水の高度処理化、創成川ルート・石狩川ルートの導水により改善傾向がみられる。平成 26 年 11 月に通水した雁来ルートは、今春より本格運用となり、その効果が期待される。茨戸川は、上部湖盆はほぼ事業目標を達成しつつあり、下流は過去 10 年間と比較して徐々に改善傾向がみられる。

■ 茨戸川水質現況



■ アオコの発生状況

● 事業実施前

年度	発生日数	年度	発生日数
平成9年度	21日	平成14年度	0日
平成10年度	19日	平成15年度	2日
平成11年度	6日	平成16年度	5日
平成12年度	10日	平成17年度	3日
平成13年度	0日	平成18年度	5日

● 事業実施中

年度	発生日数
平成19年度	0日
平成20年度	1日
平成21年度	0日
平成22年度	1日
平成23年度	0日
平成24年度	0日
平成25年度	18日
平成26年度	14日

※ 4.3日/年(ただし直近平成25~26は石狩放水路水門で局所的な発生に留まっている)

創成川ルート通水式 平成19年8月25日

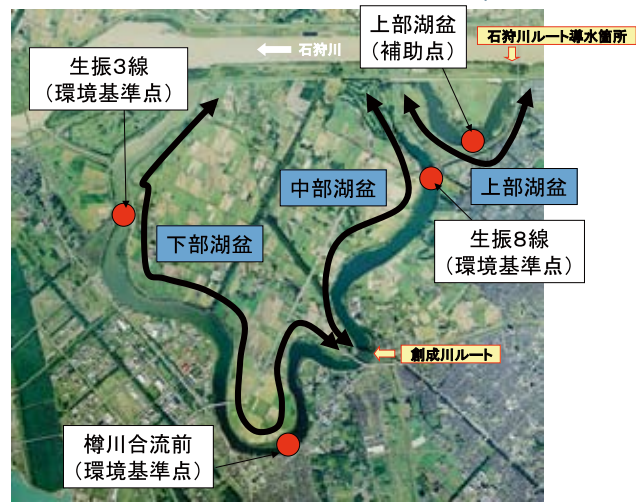


吐口

雁来ルート通水式 平成26年11月8日



■ 調査地点位置図



地域の声

- ♥ アオコが出たという話は聞かない。やはり水が動いているからだろう。
- ♥ 観音橋から上流は水がたまってなかなか出ていなかったが、導水でかなり改善されたと思う。
- ♥ 導水後、魚のおいがとれてきた。
- ♥ 水質は明らかに良くなったと思う。以前はアオコが出ていたが最近は見かけない。ウエットスーツを着て水上スキー等をしているが、スーツにいやな水の臭いが付かなくなった。
- ♥ 最近、創成川が綺麗になってきて、朝、散歩で川沿いを歩くとカモを水辺で見ることがある。
- ♥ 水質が良くなったことを住民に知らせて意識を高める必要がある。意識の高揚が、水質を維持できるような運動につながればいい。
- ♥ 札幌市にこれだけの自然、水辺があることを子供たちに知らせる、そういった啓発活動が大切ではないか。
- ♥ 市民には茨戸川は汚いというイメージがまだあるので、茨戸川のマイナスイメージを一新するようなイベントが必要ではないか。

地域協議会委員等からのヒアリングを抜粋掲載

河川事業と連携したまちづくり

札幌市創成川通アンダーパス連続化事業

都心の交通混雑の緩和と歩行者の安全確保を図る目的で、創成川の南北2つの旧アンダーパス間の地上道路8車線のうち、4車線の地下化が実施された。併せて、創成川都市部に親水緑地空間「創成川公園」が整備された。茨戸川清流ルネッサンスⅡは、札幌創成の大動脈で南北都市軸でもある歴史的遺産・創成川の環境改善につながっている。創成川通アンダーパス連続化事業は、平成23年度「全建賞(都市部門)」を受賞し、平成24年には「全国街路事業コンクール」で特別賞を受賞した。



狸二条広場でのイベントの様子



整備後の創成川通の様子

参考資料：国土交通省「第二期水環境改善緊急行動計画清流ルネッサンスⅡ」、北海道開発局「茨戸川清流ルネッサンスⅡ」、第20回茨戸川清流ルネッサンスⅡ地域協議会資料、札幌市「札幌市創成川通アンダーパス連続化事業」

写真・図：北海道開発局、石狩川振興財団

## History

日本最大級・  
石狩炭田の昨日そして明日

昨今、石炭に再び注目が集まっている。東日本大震災後の原発代替エネルギーとしてはもちろんのこと、石炭層内にメタンガスが含まれるからだ。メタンガスの採取技術が確立されると、石狩川流域にある石狩炭田は日本最大の供給地となるだろう。かつてのように。

### 🌸 黒ダイヤが再生を担う 🌸

平成 27 年 1 月、夕張市「コンパクトシティと夕張再生エネルギー活用による元気創造への挑戦」が、国の地域再生計画に認定された。夕張再生エネルギーとは炭層メタン（CBM）のことだ。主成分は天然ガスと同じメタンガスで、化石燃料ではもっともクリーンな未来エネルギーである。計画では清水沢地区でガス開発を行い、隣接する工業団地や農家へ安価に供給することで経済の活性化や雇用の安定、さらにはコンパクトシティの推進を図る。まさに石炭がまちを作り、これからメタンガスがまちを再生させるのだ。

### 🌸 近代炭鉱の先駆け 🌸

北海道の地下資源に着目していたケプロンは、鉱山技師ライマンを招き、明治 5 年から地質調査を実施した。ライマンは、学生たちを助手に精力的に踏査し、日本最大の石狩炭田（空知炭田・夕張炭田）の存在を突きとめる。開拓長官の黒田清隆も地下資源開発のため、函館戦争では敵であった榎本武揚等を開拓使に採用して、榎本が持つ西洋の最新知識と技術を活用した。



日本最初の広域地質図 日本蝦夷地質要略之図 写真：北海道大学附属図書館

# History



こうして明治 12 年、国家プロジェクトの幌内炭鉱（三笠市）が開坑し、石炭輸送のために同 15 年には国内 3 番目となる幌内鉄道が開通した。明治 22 年、幌内炭鉱は北海道炭礦鉄道（北炭）に払い下げられ、北炭は幾春別炭鉱と、新たに発見された空知・夕張の炭鉱開発を進め、自家発電所の建設にも乗り出し、さらには農業のために移民を送るなど内陸開拓にも貢献した。



幾春別川沿いにあった幾春別炭鉱 明治末頃 写真：北海道大学附属図書館



夕張炭鉱の第 1 番坑 明治末頃 写真：北海道大学附属図書館

## ❁ 花開く炭鉱文化 ❁

日露戦争が終結すると、財閥が炭鉱開発に乗り出した。美唄（三井、三菱）、歌志内（住友）、茂尻（大倉）、赤平（住友）、芦別（三井）、雨竜（浅野）等が開坑し、出炭量は飛躍的に増加、昭和 6 年の満州事変以後は未曾有の発展期に入り、日本の産業発展の原動力となった。

炭鉱開発は、未開の山中にたちまち都市を出現させた。炭鉱住宅が数多く建てられ、病院や学校等の生活施設も充実、娯楽産業も発展した。「北海盆歌」は、三笠市幾春別の炭



三笠市幌内炭山の盆踊り 昭和 20 年代 写真：空知総合振興局「そらち炭鉱の記憶フォトギャラリー」



札幌や東京にも進出した美唄焼き鳥

鉱でお盆に踊られていた「べっちょ節」（炭鉱節）がもともとなっている。また、独自の食文化も生まれた。馬の腸を煮込んだ歌志内「なんこ」（鍋）。豚のホルモンと豆腐・野菜を味噌スープで煮込んだ赤平「ががん鍋」。さまざまな鶏の内臓肉と玉ねぎを串にした「美唄焼き鳥」。豚肉と玉ねぎが入ったスパイシーな夕張「カレーそば」。十数種の具が入った塩味中華とろみスープの芦別「ガタタン」。これら郷土料理は、今も楽しむことができる。

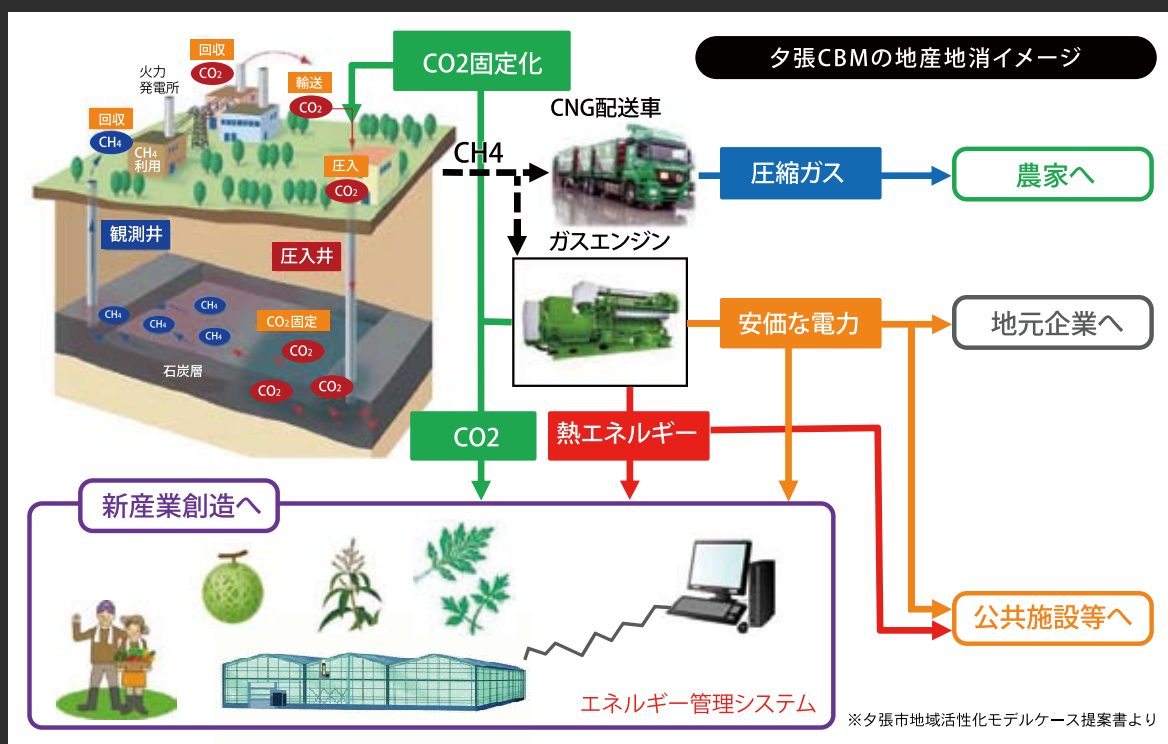
## History



## 炭層メタンの実用化へ

昭和37年の原油の輸入自由化を機に石油がエネルギーの主役に躍り出て、閉山が相次ぎ、石狩炭田の坑内掘り炭鉱は、平成7年の歌志内・空知炭鉱を最後にその歴史を閉じた。しかし、冒頭でふれたように、クリーンエネルギーとして期待されるCBM(炭層メタン)の開発地は石狩炭田が最有力である。国内初のCBM活用を目指す夕張市は、市有地において石炭層への試験ボーリングを実施し、開発に必要なデータ収集を行う予定だ。メタンガスは、地上から石炭層を目標けて坑井を掘削し、鋼鉄パイプを通して噴出したものを回収する。CBM開発は、世界各国から次々と計画が発表され、国内でも産学官による研究が進められている。次なる時代の幕が開く。

\*参考資料：北海道史、空知総合振興局そらち炭鉱の記憶をめぐる、夕張市コンパクトシティと夕張再生エネルギー活用による元気創造への挑戦、NPO法人地下資源イノベーションネットワーク「石炭地下ガス化(UCG)」



◀星空の竪坑櫓 美唄市東美唄町一ノ沢炭鉱メモリアル森林公園  
写真：空知総合振興局そらち道草写真館

### 石狩川流域の炭鉱についての情報は

- 北海道遺産 空知の炭鉱関連施設と生活文化  
<http://www.hokkaidoisan.org/heritage/010.html>
- 空知総合振興局 そらち炭鉱の記憶をめぐる  
<http://www.sorachi.pref.hokkaido.lg.jp/ts/tss/yama/index.htm>
- 夕張市 コンパクトシティと夕張再生エネルギー活用による元気創造への挑戦  
<http://www.city.yubari.lg.jp/contents/municipal/saisei/index.html>

## 流域の現在

## 比布町



## 世界へ故郷発信中！



比布大雪PA 交流展望広場より大雪山を望む

## 公式ホームページが熱い！

大雪山連峰を望む上川盆地にある田園地帯、比布町。イチゴとスキーが有名だが、その公式ホームページを開くと、目に飛びこんでくるのは笑顔の人々。その名も「町民カレンダー」は、比布町民が日替わりで日付と行事等を知らせるものだ。また、「比布町動画」もあって、比布町ホームページは楽しいことが起こりそうな雰囲気になっている。

比布町は、行政情報は町と町民の共有財産という認識に立ち、インターネットを活用した町の情報発信に取り組んでいる。平成26年1月、ユーチューブチャンネルを開設し、平成27年4月からは、情報番組「びっぷなんだもん！」が始まった。内容は、「びっぷのグルメ」と「課長」シリーズの2本立てで、毎月更新中。

## 地方ならではの情報発信

さらには、フェイスブックとツイッターという今をときめくSNSを開設し、日々変化する情報を発信するなど、きめ細かなソフト対策を行っている。道具は最先端でも、その内容に気負いはない。むしろ、ゆるいぐらいなのだ。たとえば、役場の一室で録画される「課長」シリーズは、実在する課長と部下等とのやりとりのみなのだが、課長の感想や雰囲気などがおもしろいと大人気だという。

比布町では、比布駅を新たなまちの顔とするべく、今年度完成を目標に観光施設として整備中だ。インターネットを見て町を訪れるお客様へのおもてなしも、着々と進行中である。独自のアイデアとフットワークの軽さで、地方の可能性を世界へ発信している。

公式ホームページの「町民カレンダー」  
写真：比布町

わざわざ会いに来るほど人気の「課長」シリーズ 写真：比布町



27年度完成予定の新しい比布駅のイメージ 写真：比布町

いちごスキーの町の公式ゆるキャラ「スノーベリー」  
写真：比布町石狩川に架かる比布大橋から町内を望む  
写真：北海道開発局

YouTube <https://www.youtube.com/user/pipputown>  
Facebook <https://www.facebook.com/pippu.town>  
Twitter [https://twitter.com/pippu\\_town](https://twitter.com/pippu_town)

# 流域の現在

## 歌志内市



# メイド・イン・うたしない

かもい岳山頂から見た朝日と雲海 写真：歌志内市

## 日本一小さな市と匠の技

空知管内の中央に位置し、かもい岳やペンケ山などの秀峰や自然に恵まれた歌志内市。石炭採掘によって拓かれたが、石炭産業の斜陽化とともに人口が減少、全国で人口が最も少ない「日本一小さな市」として知られるが、名品の産地でもある。

世界のトップジョッキーの鞍を手掛ける、わが国唯一の馬具メーカー「ソメスサドル」。財布やカバンも全国ブランドになった宮内庁御用達メーカーは、1964年、歌志内市にて創業した。開拓に使われた農耕馬具づくりの技術をもとに、本格的な乗馬具の製作を続け、世界から高い評価を得るまでに至った。現在も本社が所在し、名を冠した「かもい岳ソメスサドル杯エンデュランス馬術大会」が毎年5月下旬に行われている。



馬具製造の高い技術を生かした皮製品の数々 写真：歌志内市

## 山岳景観に映える品々



メルヘンの世界のような街並み

上歌地区に広がるワイン用ブドウ畑。ここは露頭炭採掘跡地で、土には今も石炭が混じるという。炭鉱会社がワイン用ブドウの試験栽培をはじめ、閉山とともに市が行い、現在、「歌志内太陽ファーム」が経営を引き継いだ。歌志内産ブドウのみでつくられた「うたしないワイン」は、バランスの良い酸味と心地良いのどごしが特徴だ。

そして、「加藤樹石苑」の観賞石は、女性研磨師によるものであり、北海道の流紋岩やアンモナイト、神居古潭石も取り扱い、色とりどりの石の世界を堪能できる。

人の手により丹精込めてつくられる品々は、アルプス・チロル地域によく似た歌志内市の風土に生まれ、味わいを一層深めるのだろう。



自然ならではの鑑賞石の奥深い美しさ 写真：歌志内市



うたしないワイン「ペンケ・ウタシュナイ」(赤) 写真：歌志内市

\*参考資料：歌志内市役所「特産品の紹介」、ソメスサドル、歌志内太陽ファーム

\*本文で紹介した製品は、道の駅「うたしないチロルの湯」にて販売しています。

歌志内市字中村 72 番地 2 Tel : 0125-42-5566



# 河川TOPICS

4

網走川大曲堰が  
土木学会北海道  
支部技術賞を  
受賞

3

北彩都  
あさひかわが  
都市景観大賞  
受賞！

2

豊平峡ダムで  
ワイン熟成の  
実験を開始

1

千歳川  
遊水地群の  
舞鶴遊水地が  
完成

## 河川TOPICS

4

3

2

1

1 千歳川遊水地群の  
舞鶴遊水地が完成

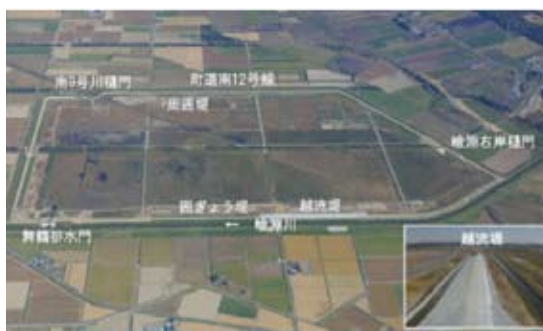
千歳川の治水対策として、6箇所遊水地が千歳川流域4市2町の千歳川本支川に整備されている。第一弾となる舞鶴遊水地が、平成26年度末に完成、平成27年度から供用開始となった。

舞鶴遊水地は、面積約200ha、貯水量約820万 $m^3$ （札幌ドーム約6個分）の大きさで、平成21年に着工し、同年9月、平成22年8月、平成23年9月、平成24年9月、平成26年9月の千歳川流域の洪水時には、掘削箇所に隣接する南9号川の洪水を緊急的に貯留して浸水被害を軽減するなど、工事中から治水効果を発揮して注目を集めていたが、平成27年7月4日に、「舞鶴遊水地供用開始感謝の会」が現地で開催され、関係機関や住民約105人が出席して、完成を祝った。

## 〈舞鶴遊水地事業経緯〉

昭和56年8月	台風12号により石狩川水系未曾有の大洪水が発生
平成17年度	石狩川水系千歳川河川整備計画策定
平成20年度	舞鶴遊水地事業用地買収着手
平成21年度	掘削工事着手
平成22年度	南9号川樋門完成
平成23年度	町道南12号線付替完了
平成25年度	舞鶴排水門、嶮淵川右岸樋門完成
平成26年度	越流堤、遠隔監視、操作等管理施設完成
平成27年度	遊水地の運用開始

資料：北海道開発局



舞鶴遊水地の全景 平成26年9月撮影



南9号川樋門



舞鶴排水門

2

豊平峡ダムでワイン熟成の  
実験を開始

北海道開発局は、インフラストックを活用した地域振興の一環として、ダム施設内の安定した気温などの環境を活かしたワインの貯蔵・熟成に関する実験を豊平峡ダムで行っている。周辺のワイン醸造所に参加を呼びかけ、2社と共同実験を開始し、平成27年4月28日、実験参加者1社によるワイン搬入作業がいよいよ行われた。

治水施設の産業振興への活用とともに、札幌の水がめの畔で眠るワインがどのように成熟していくのかも楽しみな夢のある取り組み。

## 〈想定している実験の概要〉

熟成向けに成分を設定したワインをダム施設内で貯蔵した後、熟成による変化（味、香り等）を試験により把握

◆貯蔵場所：豊平峡ダム左岸リムトンネル内の一部（リムトンネル：豊平峡ダム建設中に基礎地盤の改良などのために掘られた長さ約50mのトンネル）

◆貯蔵期間：実験開始後最長5年



豊平峡ダムのワイン貯蔵場所 写真：北海道開発局

## TOPICS

4

3

2

1

3

北彩都あさひかわが  
都市景観大賞受賞！

全国の優れた景観づくりの事例を選定・顕彰する「平成 27 年度 都市景観大賞」にて、「北彩都あさひかわ」が、都市空間部門の大賞（国土交通大臣賞）を受賞した。陣内秀信審査委員長は、「旭川市の“北彩都あさひかわ地区”は、川に隣接する美しい駅を顔とし、川と都市が融合した空間、水と緑豊かな都心のオアシスの形成をめざすランドデザインによる景観づくりを実現しつつあり、従来にはなかったタイプの都市計画の大きな成果と言えよう」と評した。

表彰は、6月12日に開催された「まちづくりと景観を考える全国大会」にて行われた。今夏は「北彩都ガーデン」の大池が通水し、都心部でありながら潤いと自然の豊かさを実感できる場となることが期待されている。



石狩川支川・忠別川と旭川市都心が融合した景観が大きな評価を得た 写真：旭川市

4

網走川大曲堰が  
土木学会北海道支部技術賞を受賞

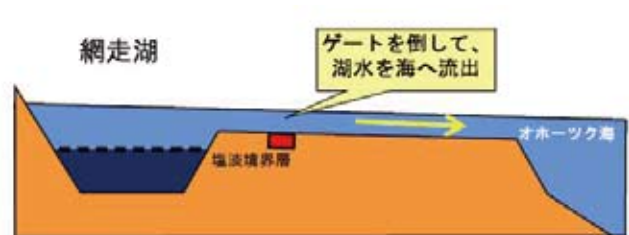
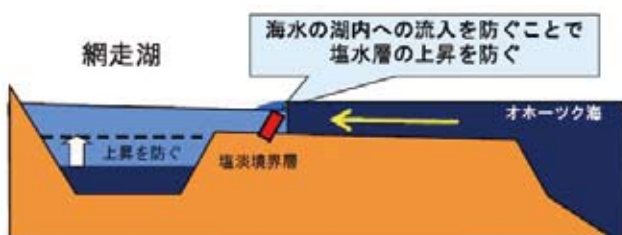
平成 25 年度に完成した網走川大曲堰が、このたび土木学会北海道支部技術賞を受賞し、平成 27 年 4 月 23 日に行われた土木学会北海道支部総会にて表彰された。この賞は、北海道内の土木事業の計画・設計・施工等に関し、土木技術の進展に顕著な貢献をしたと認められるすぐれた技術（技術、業績、工法、構造物等）に対して授与されるもので、網走川大曲堰における、網走湖の水環境の改善、魚類をはじめとした河川環境への配慮や、網走湖におけるヤマトシジミ資源量の回復などが総合的に評価された。

## 大曲堰の概要

- 海からの海水流入を制御し、塩淡水境界層の上昇を防ぐことで、青潮・アオコの発生を抑制します。
- 海水の湖内流入が多く、魚類の移動障害が少ない冬期間（結氷時期）だけゲートを操作します。

**海水の流入を防ぐとき** 湖水位が潮位より低いときに、ゲートを立てて海水の流入を防ぎ、塩水層の上昇を防ぎます。

**通常の状態** 湖水位が潮位より高いときは、湖水を海へ流出させるためゲートを倒しています。



※資料：網走開発建設部「網走川大曲堰の運用について」

詳しくは

網走開発建設部ホームページ <http://www.ab.hkd.mlit.go.jp/kisya/270507-01.pdf> 「記者発表資料 平成 27 年 5 月 7 日 網走川大曲堰が土木学会北海道支部技術賞を受賞しました」を参照して下さい。

# 石狩川振興財団の 活動報告

## 流域環境保全活動

# 01



# 03

NPO・市民団体  
への支援・助成

# 02

河川教育活動



# 04

河川事業に関する情報交換と  
川からのまちづくり

平成 26 年度市町村河川情報委員  
情報交換会議



活動報告

# 01

## 流域環境保全活動

石狩川振興財団では、石狩川流域 300 万本植樹運動等、流域の緑化活動を積極的に支援・推進して、地球温暖化問題への市民意識高揚を図るとともに、ゴミ拾いなど石狩川クリーンアップ作戦を積極的に支援しています。

### 石狩川クリーンアップ作戦



- 事業対象者／石狩川流域市町村住民
- 実施場所／石狩川流域市町村の堤防・河川敷等
- 実施月日／5月1日から8月7日
- 参加人数等／19団体、約2,500人

事業  
内容

各市町村の市民団体等と  
河川敷にてゴミ収集



昨年度配布したゴミ袋は約 5,000 枚！

## 川をはかる・川を見る・川を知る



- 事業対象者／岩見沢市北村住民
- 実施場所／岩見沢市北村旧美唄川左岸水辺の楽校
- 実施月日／9月5日
- 参加人数等／園児30名 関係者30名

事業  
内容

旧美唄川にて生物調査と魚観察、  
カヌー下り



河相調査前の操船講習

## ジャリン子冬体験塾 (ワカサギ釣り)



- 事業対象者／砂川市民
- 実施場所／砂川遊水地
- 実施月日／2月7日
- 参加人数等／99名(子ども50名)

事業  
内容

遊水地の仕組みと役割、ワカサギ釣り  
指導、ワカサギ釣り



一匹ゲット!

## ワカサギ釣り体験学習会



- 事業対象者／長沼町民
- 実施場所／砂川遊水地
- 実施月日／2月8日
- 参加人数等／56名(子ども26名)

事業  
内容

遊水地の仕組みと役割、ワカサギ釣り  
指導、ワカサギ釣り



力を合わせて氷の穴開けに挑戦!

活動報告

02

## 河川教育活動

石狩川振興財団では、石狩川の水害や治水の歴史、水利用、流域の風土・水文化、防災、河川環境及び川の安全利用などをテーマに、川や河川管理施設等で学習活動を実践しています。

## 防災フェスティバル



- 事業対象者／砂川市民
- 実施場所／砂川遊水地管理棟
- 実施月日／10月12日
- 参加人数等／100名

事業  
内容

防災講演会、降雨体験・地下浸水体験、パネル展、ヨーヨー&マグネット釣りやカレンダー作り



大人気だったマグネット釣り

## 防災学習 (DIG の実践)



- 事業対象者／石狩市社会福祉協議会
- 実施場所／千歳市防災学習交流センターそなえる
- 実施月日／11月15日
- 参加人数等／19名

事業  
内容

DIG(災害図上訓練)、避難物資カードを使ったゲーム



明治29年の地図と重ねて変化を見る

緑の回廊づくり植樹と  
石狩川治水の歴史を学ぶ

- 事業対象者／岩見沢市民他
- 実施場所／北村地区河川防災ステーション周辺
- 実施月日／10月25日
- 参加人数等／約35人

事業  
内容

講演「河川管理に関する話題と夕張川の川づくりについて」、落ち葉を利用したアートづくり



どの落ち葉を使おうかな？

## 石狩川振興財団では、川と流域に係わる情報を集めています

### ①「川の文庫」の充実

札幌開発建設部が砂川遊水地管理棟に所蔵している「川の文庫」では、児童向けの書籍を新たに購入し、充実を図っています。

### ②財団作成図書の道内図書館への提供

これまで、石狩川の治水や流域の水害などの歴史を本にまとめたり、街の歴史ポイントを紹介する地域巡りのガイドマップを作成してきました。

こうした財団で作成した出版物を多くの皆さんに活用していただけるよう、平成26年度は道内の市町村図書館、大学図書館等へ図書を寄贈しました。

### ③財団所蔵「市町村史」

北海道史及び石狩川流域46市町村の市町村史を揃えています。こうした市町村史等は、広く開放しています。



財団作成図書の書架



市町村史の書棚

流域の研究等に使用される方は石狩川振興財団にお問い合わせください。

石狩川振興財団 <http://www.ishikari.or.jp/>

札幌市中央区南1条東1丁目5 大通バスセンタービル1号館8階 TEL:011-242-2242

## 河川広報活動

石狩川水系の治水事業に係る地域に密着した情報を広く道民、地域住民に提供し、河川とその周辺地域の結び付きを深めるため、広報誌「川と人」を発行するとともに、ホームページを活用して、石狩川流域の四季の写真や貴重な歴史的写真等の情報発信を行っています。

### 石狩川振興財団公式ホームページに掲載している「四季の写真 2014年から」



芦別市と空知川



旭川市内でのサケの遡上

活動報告

03

## NPO・市民団体への支援・助成

市民団体等が主体となって推進する川を基軸としたまちづくり、環境学習活動および健康増進活動等に対し支援・助成を行っています。

### ①NPO・市民団体等への支援・助成

NPO など非営利活動団体に対して支援・助成を行っています。平成27年度はこれまでのところ22団体です。支援団体名と助成金合計はつぎの通りです。

#### 平成27年度 市民団体等支援・助成概要

1	特定非営利活動法人 札幌歩こう会	継続
2	石狩川下覧権	継続
3	「緑とエコ」サポーターネット	継続
4	河川愛護団体 リバーネット21 ながぬま	継続
5	特定非営利活動法人 まち・川づくりサポートセンター	継続
6	砂川子ども水辺協議会	継続
7	特定非営利活動法人 北海道市民環境ネットワーク	継続
8	特定非営利活動法人 ネイティブクラーク	継続
9	バイオブロック工法普及連絡協議会	継続
10	特定非営利活動法人 山のない北村の輝き	継続
11	しのつ湖未来会	継続
12	えにわ湖慈しみフェスタ実行委員会	継続
13	精進川美化緑化の会	継続
14	たきかわ子ども水辺協議会	継続
15	道北の地域振興を考える研究会	継続
16	名寄市民劇場実行委員会	継続
17	特定非営利活動法人 当別エコロジカルコミュニティー	新規
18	ダウン・ザ・テッシン・オ・ベツ実行委員会	新規
19	特定非営利活動法人 ふらっと南幌	新規
20	和光地区子ども育成連絡会	新規
21	公益社団法人 滝川スカイスports振興協会	新規
22	特定非営利活動法人 沙流川愛クラブ	新規
支援・助成金合計		3,350,000 円

平成27年7月31日現在



石狩川下り (まち・川づくりサポートセンター)



ごみ拾いビーチウォーク石狩浜 (北海道市民環境ネットワーク)



タモ網による魚とりの体験 (しのつ湖未来会)



市民劇 (名寄市民劇場実行委員会)

### ②公益目的事業による支援

石狩川流域の振興に資する各種大会や連携講座などのイベントに協賛し、その活動を支援しています。

#### 平成27年度 公益目的事業支援概要

1	スカイスports協会	継続
2	ツール・ド・北海道協会	継続
3	大雪忠別湖トライアスロン実行委員会	継続

平成27年7月31日現在



活動報告

河川事業に関する情報交換と川からのまちづくり

04

## 平成26年度市町村河川情報委員 情報交換会議

石狩川振興財団では石狩川流域全46市町村の河川担当部長・課長から構成される市町村河川情報委員を運営しています。平成26年10月28日（火）、石狩川流域42市町村の河川情報委員と、北海道開発局、北海道、札幌管区気象台等から71名が参加して、「市町村河川情報委員情報交換会議」を札幌市で開催しました。

今回は防災をテーマに、平成26年9月11日の大雨特別警報に伴う災害を中心に意見交換を行い、実際に避難勧告を出した市町からはその時の状況や課題について報告され、「人的被害を防ぐためには、関係機関が災害情報を共有することが重要」との認識が一層高まる機会となりました。

平成26年度 市町村河川情報委員 情報交換会議 プログラム

## 1 開会挨拶



石狩川振興財団会長  
黒氏 博實

## 2 情報提供

## 1 防災に係る情報提供

大規模水災害への対応について



北海道開発局河川管理課長

金澤 裕勝氏

防災気象情報の活用について



札幌管区気象台気象防災情報調整官

輪島 淳氏

土砂災害への対応について



北海道河川砂防課砂防災害担当課長

山田 宏治氏

平成26年8月・9月の大雨による出水の概要



札幌開発建設部河川管理課長

吉田 晃啓氏

## 平成 26 年 8 月降雨における市町村支援について



旭川開発建設部治水課長補佐

米元 光明氏

## 2 市町村からの情報提供

### 石狩川流域圏会議の状況について



恵庭市土木課 主幹

小館 眞氏

### 「北彩都あさひかわ」について



旭川市都市建築部 次長

辻野 隆行氏

## 3 開発建設部からの情報提供 [ 石狩川の環境保全について ]

### 石狩川旧花園頭首工の魚道について



札幌開発建設部河川計画課石狩川総合水管理調査官

中島 康博氏

### 石狩川上流の河川環境保全に向けた取組の一例



旭川開発建設部治水課長補佐

米元 光明氏

## 4 質疑応答

## 石狩川流域圏会議

石狩川流域圏会議は、石狩川流域全 46 市町村の首長から構成されており、平成 23 年に発足しました。石狩川振興財団は、石狩川流域圏会議の活動と連携しながら、石狩川流域市町村の活性化に努めています。

### 1 豪雨災害対策職員研修

石狩川流域では昭和 56 年の水害以降、流域全体に被害が及ぶような大きな水害がないため、市町村の中でも水害の経験のある職員が減少しています。このため、石狩川流域圏会議では、豪雨災害を担当する市町村職員を対象として、平成 25 年度から豪雨災害対策職員研修を実施してい

ます。平成 26 年度は、7 月 15 日、16 日の 2 日間、恵庭市において開催され、30 市町村から職員が参加しました。石狩川振興財団は、16 日午後の危機管理演習を担当し、大規模豪雨による被害想定と状況の進展シナリオに基づき、参加者は、各段階における適切な対応を検討するとともに、問題点や留意点を把握することを目的とした訓練を行いました。



危機管理演習の様子

### 2 石狩川サイクリングコースマップづくり



平成 26 年 8 月に行われたサイクリングコースの現地調査

道外、海外からのサイクリストが増加していることから、石狩川流域圏会議では、自転車で石狩川流域を結びつけ、流域全体の活性化を図ることを目指しています。この一環として、サイクリングコースマップづくりに着手し、平成 26 年度は石狩南部&空知南部編が作成されました。モデルコースとして、「恵庭溪谷・支笏湖チャレンジコース（恵庭・千歳）」、「川と田園をめぐるコース（恵庭・千歳・長沼・北広島）」、「丘と田園をめぐるコース（恵庭・千歳・由仁・長沼・北広島）」の 3 コースが設定されており、各コースの距離・高低差・レベル（上級者向き、初心者向き等）をはじめ、食事等の休憩場所、温泉施設、修理が必要になったときのサイクルショップ等が記載されています。

#### 石狩川流域サイクリングマップ





舞鶴遊水地供用開始感謝の会の千歳川流域市町首長等によるくす玉開披 平成 27 年 7 月 14 日 (18 ページ河川トピックスを参照)

一般財団法人 石狩川振興財団

●発行 平成27年8月

●住所

〒060-0051

札幌市中央区南1条東1丁目5 大通バスセンタービル1号館8階

TEL: 011-242-2242 FAX: 011-242-2445

●ホームページアドレス <http://www.ishikari.or.jp/>